

## 戦争と北谷の人々



### 収容所の設営

1945 (昭和 20) 年 撮影 (沖縄県公文書館蔵)

アメリカ軍は4月中旬ごろ沖縄本島北部の羽地村田井等(現名護市羽地)に軍政府を設けて避難民を収容しました。



### 島袋の収容所

1945 (昭和 20) 年 4 月 6 日 撮影  
(沖縄県公文書館蔵)

現在の北中城村島袋集落は米軍の一大難民収容所として利用されました。米軍上陸後に北谷と砂辺の仮収容所に収容されていた住民は、4月5日に米軍の車両や徒歩で島袋収容所に移されました。そこで、17歳から45歳までの男性をえり分けて米軍の作業を行う特別作業員として収容し、一般収容所では瓦葺き家に数所帯・十数人も押し込められた窮屈な生活でした。



### 青空教室

1945 (昭和 20) 年 4 月 15 日 撮影  
(沖縄県公文書館蔵)



### 桑江での配給

1945 (昭和 20) 年 4 月 2 日 撮影  
(沖縄県公文書館蔵)

北谷村桑江の桑江駅付近にあった製糖工場の倉庫前で、米の配給券を手にした住民が配給を受けています。